



大西園府 卷五

洋学文庫
文庫 8
F 2
3

從第七十七版
至第百五版

大園府
西

卷之五

第七十七版

一号至三号

古昔^{ゴキ}千七風^{チシフウ}を模倣したる殿堂三字

此殿堂ハ皆四面高敞なる地位を擇み建つ

四号五号

屋宇何れも林亭



[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

第七十八版

余の思ふところと考ふるところと皆異ことか
らんも此景ハ雄大佳麗にして世ハ喧傳凡一キ
記念の一碑たるを

峯寂しして其形歪斜不正なる峭岨の邊ハ陰森
たる楊柳を植え中ハ一間地有り高く古賢の胸
像胸以上を刻を安置せる記念柱を聳うて此設
けハ奇勝あること筆紙の述ふるところハ勝る
了

第七十九版

畫屏の面ハ老農の旅館の景を写す

新たに別荘を造る間列樹の直道の一半を存
して其風景を轉化せるを欲するもの少あり
るに如此ものハ此等の畫屏を道の筋あると
ころに設け旅館は投宿する道路の想をあさ
しむるに

此の畫屏ハ老農の旅館の景を写す
新たに別荘を造る間列樹の直道の一半を存
して其風景を轉化せるを欲するもの少あり
るに如此ものハ此等の畫屏を道の筋あると
ころに設け旅館は投宿する道路の想をあさ
しむるに

第八十版

英吉利風巨大園庭の前部

以符ハ池水の一大部之を隔てし主殿を見る

區符ハ主殿より赴く虹橋

波符ハ主殿此殿ハ園中の常路の高さよりし

高さこと六尺以上あるを

仁保符ハ小築馬舎車厩柵空園丁の居等より供

見

邊土知符ハ茅野喬木を植む

利奴符ハ別區和檜を植む

別

留符ハ麦隴

遠符其解を

第八十一叙

第八十二叙

林中の四小舎、其結構位置施主用ハ前の諸圖已に
屢、あれを記す

第八十三叙

出麓系石池水の景中ハ石嶋あり一橋を以て陸
地小通也

第八十四叙

一号

茅舎

二号

小祠堂、茅葺を以て風流、其屋を葺く、丙柱の
口間ハ、ビドコロシヨウシ波濤柵子を設け、ビヨケ揺動する遮陽を設く

第八十五叙

是れを一目をれば、古の工、ツ不風の建築多しと
す、ク木を以て造立し、繪糸して其風を模る、ク畝
の中の本履、ク此着色を施し、ク別種の畝畜を養
ふ

いかに宜し

第八十六叙

小島、ク田家及其附屬の物
予嘗て林中の小田、ク穀類、馬鈴薯又ハ、ク風景
を賞くる、ク他の菓實を植へ、其端に此家を造れ

第八十七段

此段及下の八十八段ハ余ガ造築セテ別荘の前

後を載セ原書紙片新裂

細に讀へう

以^三管ハ本^五厦前室より眺望を此ハ喬木を準^順序系

く植ふる葎原電波即

〔宮〕波〔仁〕管草原を官道及列^レ慈河の前ニ見^ル也

保^レ管ハ青石を擬造せる橋第二十段の二号に

載せる其の如^ク但^シ其形穹窿を為す

〔德〕管ハ Caspell

〔登〕知^上管ハ園吏の居馬廐車廠檢屋

ダイクノ字

〔利〕奴^上管ハ鉄柵車乘を利^上管より乘り入れ正厦

の側を過^リ保^レ管橋を越へて或ハ馬廐に入り

或ハ柵門^上奴^上管より出たる

〔宣〕管ハ古^クゴ^クノス風の橋此橋を架せる細流

ハ伏間を以て列慈河と通^ス故を以て其水^池

水の面より高さ五^尺二尺許ふして橋下に在

る石^{三箇の}を衝激して瀑布を為^ス其下^流ハ浅くして

石^片を敷きたれば水漲後と響^リ流る

〔遠〕管^上獸園内の水周圍ニ *waterloo* を設く

〔和〕管ハ小岩石又橋梁の用を成^ス堤内の開^扉

を扱ずバ水激して瀑^瀨を成す

加^カ竹ハ諸猷園内の水流れて

興^{キョウ}竹の近傍に向ひ新陳交代^ニハ
大水道^大流れて新陳交代す水も猷園下の水の
分界^カハ石^石を若石様に疊^ニ水島の流^ニ浮^ヒ
去^クるを障^フ

大^{ダイ}竹ハ猷園内の本厦^ニ廣^ク一^一房^ヲを造^リ猷園内
前庭^ノの風景^ヲ眺^ミべし^一両側^ノの格子^ヲより七^七

園^ノの金鉄網^内を洞視^スをへし

禮^{レイ}道^道竹ハ二箇^ノの憩^所

津^ツ竹ハ村橋^其下に水満^{あり}

福^{フク}竹ハ村家の榻^{より}を古^くして美陰^{あり}七
楊樹^下に設^く

奈^{ナイ}竹ハ幕木園

良^{リョウ}竹ハ其前面に盆種^の松^及諸木^を置く正
夏^{の後}室^{より}を望^{んで}偉觀^{を生}ず

武^ブ竹ハ小高野^其上に榻^を置く^フラタン^{ホーム}出
れを蔽^ふ此處^{より}水^を超^中て留^竹橋^津竹橋

及^松樹^を植^へ多^る守^竹山^を望^むべし

爲^爲竹ハ石^{にて}造^了多^る堰^前面^の満水^を支^障ふ

第八十八叙

以符ハ園庭の入口

〔呂〕半圓小して屋を蓋ひ多る座所四柱を以て
あれを支ふ此處より眺望とれハ雄麗の景色
目中に帰る〔刹〕符の浮梁ありて島と陸との路
を通り留符の祠堂山上に立寄遠符の橋邊符
の小舎保符の窖洞窖は對して葡萄田山あり是
等の風景の外尚幾多の風景悉く此地ハ美觀
を呈次散歩して〔波〕符に至れば牧野を隔て、
一二の座所を見る更に曲折して葡萄田の上

来る

〔仁〕符此處より四面景色の佳勝を見る漸く下
れば洞窖の扉の入り魚形に似たる者を見る
保符ハ洞窖前の着色せる扉岩石ハ凝集せる
消燦瓦石重疊して造る某の距離より望むハ
景致画の如し

〔邊〕符ハ村鄰の小家茅葺を以て其屋を葺く其
傍小艇を繋ぎ島と渡るに供す島上ハ漁象
を造る

〔土〕符ハ第五十叙第二圖の如し屋を造る

知符ハ田家の榻敷個の老木の下に安き遊客
散策して松材を編たす

利符浮梁を渡りて更に

奴符橋に向き此橋ハ第十級第八号の知者
を造る一し此橋より

留号山に登陟き山上に小祠堂あり第六十級
に載る者の出とを造る山より下り清楚な

〇速号原本脱き
今補入

蘇ス微ミ節セツ尔ニ國クニ風フエに造れる橋ハに到る其橋ハ第
三十四級第三号に載る者の出ヤし
和菓樹を樹藝せる區

加二個の坐所

其扉を閉たる祠堂平野及び水邊の景音勝殊

に多し

太礼二橋

曾林中の小屋

津榻

稱堤棧の内に堰扉あり扉上より水溢張りて

堤膝下の小渚に入る

園府圖解

第八十九頁

一 号

農家

此農家ハ下半身ハ星霜を徑たる石にて造
り上半身ハ粗糲の木材にて造り茅藁を以
て屋を葺く

二 号 三 号 四 号

二脚の園搦及園椅

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 園、脚、搦、椅）

第九十叙

一号二号

此叙は載せ多^三る異様規制の殿堂の圖ハ扁平
木屏上子画く^二互^一其第一号番ハ洞開せる
穴より此書中述る所の諸景色を透見せしむる
らむべし

三号四号

園榻

第九十一叙

一号

田家

造建の費甚おく志て其制頗る風趣あり室
内乃區畫ハ其用ゐる所に他て同一あり
或ハ工役獵夫^淋等^下の居住とあり或ハ奇
獸の園とあり或ハ庖厨の畜類を蕃息せし
處となす

二号

ゴキセ風の小築

三号四号

第一号^二を造建せる地基

五号六号

園椅

粗糙の木材より造る田家内よ置くよ宜し

第九十二版

一号

丹采林舎

麥稈及び氣條を以て造る

二号

此規制ハ金を費ること少くして林泉の高趣
を添ふるに適し柱ハ天然の^材木を用ふ

三号

第一号屋梁結構の骨格

第九十三版

田舎農家の小建築を必^{其地}も皆適^みせ^はて^る各
其趣味を異^にせ^り故^に或^は時^に新創意の園
屋及びハク^リマ^シル^状の^意を^冒する^類の家^の名
を造^り出^す人^と工^夫を^運せ^り此^図及^び下^版の
図ハ其^模範^の大^畧也^り

第九十四版

此佳麗なる園屋を模範となして変通を極し
屋巔又華飾せりそのハ意に随て変化し或ハ
除き去る可なり

第九十五段

一字下

英者^利設置の小系者大園地^を造る小用ふ

(以)符屈曲せる金魚池池中の葛嵜小ハ白楊及
凄愴たる柳種を栽て

(呂)符小卵一叢の樹木を栽へ或ハ小祠を其頂
小造る

(波)符緑蔭多^し樹下小園榻を設く前面の外ハ
小松樹を環植す前面ヨハ二區の地を劃し小
灌木^或ハ薔薇を栽へて眺望を碍へたりしむ
(仁)符園中の一景色雜樹及灌木を栽り

(保)符擲石枝場灌木若くハ櫟樹を両邊に列植

し其枝極を^剪修すし

(邊)符果实を結多木を植へ其余ハ意に随て諸
木を雜植す

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

第九十六級

前に同しき設置

以符小嶼

呂符大礁二橋を架して遊覽に便す

波符邱陵松樹を栽ゆ

仁符小山山足ハ漸くに低て平地となる頂上

ヲハ小祠堂或ハ一葉の樹木を栽ゆ

保符半輪状の小飲所後面にハケレマチスを

栽へ其上を蔭翳せ

土符擲石枝場

プリルキー
フーブルス
Demaris

知符菓実を結ぶ木を栽る地面

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

第九十七級

第一号

費用廉小して然甚々人意に可なる小屋

其柱ハ樹幹にして造り屋ハ茅葺きにて造るべし

入口の壁ハ古らび多る石の如く畫す其餘は

狭長の板材を釘着せしむ

矮木及花を著る灌木の邊の稍小高き處に造

つを好む

第二号

林中の小舎

林中の稍閑散せる地の一ニ株若くハ七八株

の畫趣ある樹下于此家を造るを妙とに此舎

ハ雨を避る所とあり園房とあり或ハ雉子及

諸畜の夜栖とあり亦も可あり

三号

雄麗ある園中の大建築

此家を造るべき地ハ人ニ天趣より多きを

好む

四号

樹枝下て造れる粗朴の榻

第九十八段

一号

亞細亞西偏の國風の小建築

此家ハ數箇の用あり或ハ水敷を此内ニ造リ
或ハ小室と成シ樓上を鳩舎ニ用ヒ或ハ平板
上に此屋を画ク等あり

二号

外相ハ類セテ可如ク見カラスゴツクス風の建築
獨風景の具とる人々欲とるのニ去ルハ是
礼を平板上ニ画キテ可去リ然レトモ風景の

具のニ去ルハ用テ所ありて實にこれを選
んと欲セバ下にある地基を視テ其結構の法
制を曉るべシ其塔ハ雜峙鳩舎及他の鳥樊と
多きに恰も好シ家の中央に牆あり屋後の景
を洞視して恰も画趣の如シ右側に一房あり
座敷小供を光木枝を交へ箭藪として四面を
圍ル年地の上に此屋を設くるに宜シ

三号

洞開せる小房

四号

校直^{ちう}の列樹道の盡夏の景物と多し或ハ水鼓
を此内に設^てけ^て園房とあり鳥樊と成るに適當
と云

五号

其製ハ簡易多れとも華麗なる鳥樊福島鳥若
くハ他鳥を富ふに宜し屋室^居の側ニ造るべし
灌木花樹を植ふる富麗の景あり地ニ此屋を
設くる好所と云

九号

第九十九号

一号

甚奇よして能くも人意に投ざる園中の建造
室内の区劃及其廣狭大小其様よ随ふべし
風景佳勝^{シキ}なりて閑敞せよ地及樓よ登れば一
目より四方の風景^色を眺瞻せよ地よ此屋を造
るべし

二号

木門

列樹の *Poplar-Lawn* 及牧場等の前ニ造る
調馬場也

第百級

一号

ある華靡ある園中の造営

二号

同上の地基

一二三の小房

三四号

園椅

五六号

粗糲の本よて造るる籬籬

第百一級

壯麗あるゴシック風の橋

第百二級

十一号

墓表

死せざる朋友或女友の^{像に}忘るる可き者
の爲に立^たせ^られ^しハ一二の殊絶の事^の爲に建つ^た表
ハ良木を撰^りて^は巧^にに朱色を施して可なり水を

隔多る處若くハ人意を熟ふ可るに幽鬱多る
處又ハ樹林中の稍開敞せる處を採んで建る
を甚好まると信

二四号

木上ニ画ある尖形墓表

是れを建る所を其上に同し四号ハ屋後成
ハ列樹道の盡處の如き遠景とありとす

三五号

二字の甚費用少き木造の居家

茅葺を以て風流ニ算くべし第三号ハ林監の
ハヤヒモリ

の住處と成し或ハ池水煮き時ハ小艇を以て
島より渡り舟子の家と成し或ハ陸より島
より渡り舟子の家と成し第五号の屋ハ外壁を
石の如く画き野趣ある副房を造り宛雇夫の
居處の趣を存し屋外に柵板を以て藩籬と成
せり一區の小菜園を設く此家ハ木屏或ハ布
上に画き甚野趣を有るに宜し又岩什を載せ
る處或ハ洗惣の處とありて實に奇れを造る
可あり

第百三級

小なる莫吉利風の地基

(以)符ハ高崇の地上に榻をくハ小屋を造る

(呂)符ハ小池金魚を畜ふ池中ハ小島あり白楊

を植ふ其水ハ樹陰に入て終る池畔の地ハ蛇

曲ト各種の樹林ハ花を着る灌木諸種の松柏推樹並

柳等を植ふ

(波)符ハ一叢の翠蔭多き樹下の座所をくハ桐

堂

樹ハ亭子随て可なるものをも植ふ

第百四級

頗大なる地面の景大なる風景二箇の大入りて

方形なる池あり地勢甚低(以)符の家より(保)符

の橋よりなる其一と(知)符橋より(返)符橋ありて其

一と以此二池ハ其一部を埋え或ハ疎鑿して以

て画りたる屈曲の形とをせらるるなり

(以)符ハ家屋

(呂)符ハ馬廐及車廠

(波)符ハ大樹林

(仁)符ハ島其上に座敷あり橋邊を眺望するなり

冠筭橋及阜上の(利)筭祠堂を眺望するに好風景あり

(保)筭ハ橋

(邊)筭ハ阜上に欄笈脚を設く

(正)筭ハ類落の家(冠)筭橋(利)筭丘あり望むに宜

園中の樹木ハ桑木喬木洋木雜木松柏等互に分植せしむ

第百五致

一号

園中の建築極めて高趣を存せし者屋の外相及泥水の枝乃壁窓の彫績ハ此園ニ随ふも能あり或ハ別に意に随て地設もるも好し又下に載多き地基の如く造るも造るも人の好む所ニ随ふべし

二号

房内を区劃せしむも可なり或ハ側面一ニ室を造るも可なり



